

# 全国ユース 環境ネットワーク



# 第4回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会

2019年2月9日、10日の2日間、東京・渋谷区にある国連大学で

「第4回 全国ユース環境活動発表大会」が開催されました。

表彰式には、中井徳太郎環境省総合環境政策統括官が出席し、挨拶をされました。

## ご挨拶

環境省  
総合環境政策統括官  
中井 徳太郎



只今ご紹介をいただきました、環境省総合政策統括官の中井でございます。

第4回全国ユース環境活動発表大会の全国大会の閉会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

さて、本年度の大会は全国8地区における地方大会に152団体の高校生の皆様に参加されたと聞いております。

そして各地方大会で優秀な成績を発表された16校が本日一堂に会して全国大会が開催されました。いずれの高校も素晴らしい発表を有難うございました。

発表頂いた活動は、環境を守り、地域を元気にするもの、継続的な調査活動を環境活動に繋げるもの、課題解決の為に技術開発、国際協力、実践活動などどれも甲乙付け難く、皆様が日頃から話し合いながら、力を合わせて一生懸命活動してくれていることが伝わってまいりました。

さて、昨日は皆様もSDGsについてのセミナーに参加されたと聞いておりますが、SDGsとは豊かな地球を持続可能なものにする為に、世界が2030年までに取り組むべき国際的な共通の目標です。国際社会ではすでに多くのSDGs達成に向けた取り組みが進められておりますし、我が国でも多様な分野で取り組みが実施されております。

昨年4月に閣議決定いたしました、第5次環境基本計画におきましては、SDGsを地域から具現化する構想として地域循環共生圏を提唱し、その実現に向けて政府をあげて取り組んでいくこととしております。

2030年皆様は社会に出て、仕事をして、家族を持って様々な方面で活躍されていることと思います。そして社会も少子高齢化、技術革新など大きな変化に直面していることでしょう。しかし今回の皆様の取り組みはまさにSDGsそのものであり、こうした活動経験は将来へ向かう皆様にとっても大きな力になると思います。

私たち環境省は豊かな地球環境を持続可能なものとして、未来に残そうとする皆様の取り組みを応援します。私も皆様と一緒に持続可能な社会を作って行かなければならないと決意を新たにいたしました。

最後になりますが、地方大会を含め素晴らしい活動を行っている全国の高校生の皆様、生徒に寄り添い活動を支援していただいた先生方、そして本日ご来場の方々の益々のご発展を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

## 第4回 全国ユース環境 活動発表大会

### 表彰式

上段) 贈賞名  
中段) 受賞高校名  
下段) 贈呈者名



環境大臣賞  
長崎県立五島高等学校  
環境省総合環境政策統括官  
中井徳太郎



環境再生保全機構理事長賞  
岐阜県立恵那農業高等学校  
独立行政法人環境再生保全機構  
理事長 福井光彦



国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞  
東筑紫学園高等学校  
国連大学サステナビリティ高等研究所  
シニアプログラムコーディネーター 渡辺綱男



読売新聞社賞  
名古屋市立名古屋商業高等学校  
読売新聞東京本社 教育ネットワーク事務局  
事務局長 貞広貴志



特別賞・高校生選考賞  
愛媛県立上浮穴高等学校  
環境省総合環境政策統括官  
中井徳太郎



特別賞・先生選考賞  
青森県立名久井農業高等学校  
環境省総合環境政策統括官  
中井徳太郎



## 第4回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会

### <概要>

- 日程** 平成31年2月9日(土)、10日(日)
- 会場** 国連大学 ウ・タント国際会議場
- 主催** 全国ユース環境活動発表大会 実行委員会  
(環境省・独立行政法人環境再生保全機構・国連大学サステイナビリティ高等研究所)
- 後援** 読売新聞東京本社
- 協力** 環境省地方環境パートナーシップオフィス(EPO)/地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)  
ESD活動支援センター
- 協賛** キリン株式会社 / 協栄産業株式会社 / SGホールディングス株式会社 / 三井住友海上火災保険株式会社

KIRIN

KYOEI

SGH

MS&AD

三井住友海上

## 受賞校のみなさん、おめでとうございます！

今年度は、全国8会場で「地方大会」を実施。各地方で選考された16高校が出場しました。  
代表校の発表はいずれもすばらしく、審査を経て環境大臣賞をはじめ出場高校すべてに賞が授与されました。

### 環境大臣賞

#### 長崎県立五島高等学校

##### 五島環境部

##### 島から世界を巻き込み！海から生み出すお宝大作戦！

「五島の海が綺麗な海ではなくなってきている。」潮の流れに乗って、五島の海岸には多種類のごみが多く漂着している。そこで、学生団体を立ち上げ、五島一周調査を実施。7時間かけて海岸線を一周すると、ほぼ全域に海ゴミの漂着ゴミが見られた。また、学校外の多くの人に海ゴミの存在を知ってもらうために海ゴミでアートを作った。人を巻き込むことが持続可能な活動をする上で一番重要なポイントだと考え、今後も活動に取り組んでいく。



### 環境再生保全機構 理事長賞

#### 岐阜県立恵那農業高等学校

##### 花咲かみつばち倶楽部

##### 花咲かみつばちプロジェクト ～みつばちとともに里山の調査・保全・活用～

里山の植物にとって必要不可欠なミツバチを守りたいという思いから活動を開始。Honey Prodece活動では、耕作放棄地を再生し農地収穫物の蜜源植物(レンゲ、エゴマ)を増殖。また、販路創出に向けて、蜂蜜、エゴマ油、エゴマ味噌、蜂蜜天然酵母のエゴマ食パンの商品を開発。すべての収穫物の販路を創出することができた。売り上げの一部を使いレンゲの種を購入し、地域でエゴマ栽培に取り組む農家さんへ訪花昆虫のために蜜源増殖への協力を呼び掛けた。



### 国連大学サステイナビリティ高等研究所 所長賞

#### 東筑紫学園高等学校

##### 広谷湿原保全プロジェクト

##### 平尾台&広谷湿原 水の起源を探る+高校生が国際条約に挑戦！

日本で唯一、カルスト台地に存在する貴重な湿原、広谷湿原の成因、増減、再生の全3点から考察し、ラムサール条約登録に向けて活動している。「人間がずらしてしまった湿原の時間軸を元に戻すのは、人間の責務である」と考え、福岡県と地元の刈田町に「里山的手法」をもとに再生の提言を行い、作業している。土壌硬度による湿原境界の数値化、安定同位体による水の分析を研究し、陳情や発表を進める。3年後の2021年の締約国会議を目指している。



# 第4回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会

## 受賞高校のみなさん、おめでとうございます！



### 読売新聞社賞

#### 名古屋市立名古屋商業高等学校

##### 商品開発研究班

##### 葦から“Zoo” Flight

川辺や干潟に広がる葦の群落。葦の持つ「水質浄化作用」と「生物多様性の維持」に着目し、環境保全活動とビジネス活動を連動させる活動を実施。これを実現するために、葦を原材料とした商品生産を目指し、様々な業界の企業や団体と交渉を重ねた結果、5種類の商品を生産させることができた。葦を原材料とした「小型のポーチ」や「うちわ」の商品を完成させた。海外からの旅行者への「クール・ジャパン」の土産物として開発した。



### 高校生が選ぶ特別賞

#### 愛媛県立上浮穴高等学校

##### カホンプロジェクトチーム

森林の想いを音色にのせて ～カホンを通じた森林環境教育の実践とSDGs達成に向けた取組～

上浮穴郡久万高原町は、森林面積が90%以上を占める。持続可能な森林管理技術の確立、木材利用の推進と啓発、SDGs達成に向けた取組の3本を柱として活動を行っている。間伐を実施し適正な林分密度へ誘導。また、木材利用の推進や環境教育で注目したのがカホン（ペルーの民族楽器）。地域のイベントで演奏でき、木材利用の啓発にもつながると考え、過去1年間（H29～H30）に11回のワークショップを行い、延べ507人が参加し、355個のカホンを製作した。



### 先生が選ぶ特別賞

#### 青森県立名久井農業高等学校

##### TEAM FLORA PHOTONICS & BUBBLE BOYS

##### 安全な水とお腹いっぱいのお腹を届けるために

発展途上国では富栄養化によって発生した藻類が水に毒性物質を出し、子供たちや家畜の命を奪っている。また散布した農薬が水源を汚染している。さらにこれらの国は食糧不足も深刻。そこで、食糧を生産できる作物（トウモロコシとインゲンマメ）を池沼で栽培したら、水質浄化と食糧生産が同時にできる新しいシステムが開発できるのではないか、また農薬を現在の霧状散布ではなく泡状にしたら飛散しにくいのではないかと考え活動を進めている。



### プレゼンター・審査委員



審査委員長  
**小澤 紀美子**  
東京学芸大学 名誉教授

#### <審査委員長 講評>

高校生が楽しみながら自主的に環境活動に取り組んでいることが、共感と感動を得る力になっていると感じられました。未来を担う若者達がSDGsに取り組む姿を見て、大変勇気づけられました。



投票箱



高校生の投票



先生の投票



環境省プレゼンター  
**中井 徳太郎**  
環境省総合環境政策統括官



審査委員  
**渡辺 綱男**  
国連大学サステナビリティ高等研究所  
シニアプログラムコーディネーター



審査委員  
**佐藤 隆史**  
環境省 大臣官房  
環境経済課 民間活動支援室長



審査委員  
**貞広 貴志**  
読売新聞東京本社  
教育ネットワーク事務局 事務局長



審査委員  
**福井 光彦**  
独立行政法人環境再生保全機構理事長



審査委員  
**野村 隆治**  
キリン株式会社  
執行役員CSV戦略部長



## 優秀賞 10校

### 市立札幌旭丘高等学校

#### 生物部

##### トンボの調査から自然環境を診断

トンネウス沼におけるトンボ相の移り変わりを調査している。トンボ相を継続的に調査することで、地域の水環境や陸上環境を推定することができる。本研究ではトンボ相が北方系種から南方系種に移り変わっていることが明らかとなり地球温暖化との関係について考察を進めた。



優秀賞

### 北海道帯広南商業高等学校

#### NSE48 (NANSHO ECO 48)

##### NSE48のエコ活動

生徒会でエコ委員会を設立。別名NSE48(南商工コ48)。単に「エコ活動」を主として取り組んできたのではなく、「地域環境の保全」が今日の最重要課題であることを掲げ、活動全般を通じて環境を守る大切さを尊重し環境にやさしい学校づくりを目指して取り組んでいる。



優秀賞

### 福島県立平工業高等学校

#### 生徒会

##### 「もったいない!」からはじまる環境活動

様々な活動を17年間継続している。活動は、①アルミ缶のリサイクルによる老人ホームへの車椅子寄贈、②アフリカ・マリ共和国ヘジャージや運動靴を送る活動、③インクカートリッジ回収による発展途上国支援、④ペットボトルキャップ回収で世界の子供達にワクチンを贈る活動。



優秀賞

### 新潟県立佐渡総合高等学校

#### GIAHSプロジェクトチーム

##### 佐渡の社会を考える! GIAHSを用いた地域活性化プロジェクト!

人間もトキも生物も、食べなければ生きていけない。また、佐渡の農業や漁業は陸の豊かさ、海の豊かさを守り、生物を保全している。私たちは、食と環境をテーマに世界農業遺産や佐渡の魅力を発信し、食育に取り組み、地域全体を巻き込んだ社会づくりを自ら実践していく。



優秀賞

### 群馬県立利根実業高等学校

#### 生物資源研究部

##### イノシシの色覚を利用した侵入防護研究と普及活動

野生動物から農業被害を防ぐことを目的に、イノシシの侵入防護対策の研究を行っている。農業廃材の青色園芸ポットなどを利用した侵入防護柵(青ポット柵)を設置した。圃場での侵入被害をもたらす成獣は実験開始から平成30年10月現在、2年9か月間侵入していない。



優秀賞

### 京都府立綾部高等学校

#### 分析化学部

##### 地域と歩む由良川保全活動 ～由良川レンジャー奮闘記～

由良川は大切な地元河川。安全安心な食料生産の確保、生物多様性の保護のため、市や市民、企業、関係団体を巻き込み、多岐に渡る保全活動に取り組んでいる。水田水と河川水の測定、水生生物調査、外来生物の調査、ゴミ捨て禁止の呼びかけ、出前授業、啓発活動・情報発信など。



優秀賞

### 京都府立桂高等学校

#### 第3研究群「地球を守る新技術の開発」研究班

##### 植物の隠れた能力を引き出す! ～未利用資源MAPを活用した新技術の開発～

下水処理時に発生する未利用資源のリン酸マグネシウムアンモニウム(MAP)を肥料として活用することを発案。現在、芝の緑地やムギ栽培の実証試験を行っている。肥料の削減、生産性と品質向上させる研究として、土壌環境の改善や食料自給率の向上に繋がる研究として取り組んでいる。



優秀賞

### 広島県立世羅高等学校

#### 鯉米

##### 錦鯉廃棄稚魚を活用した鯉米・魚醤生産による地域活性化

多くの鯉の稚魚が発色の悪いことを理由に、1年間で396万匹が産業廃棄物として処分されている。処分される鯉の活用方法として魚醤を生産した。耕作放棄地対策として無農薬米を栽培することを考え、廃棄される鯉の稚魚が田の除草をする鯉米を作った。米に付加価値をつけることができた。



優秀賞

### 山口県立防府商工高等学校

#### 3年課題研究 ホットショップ 店舗経営班

##### 持続可能な環境活動を目指して ～エシカル消費が世界を変える～

「エシカル消費」という考え方をもとに活動を行っている。「SDGsフェスタ」というイベントを地元防府市内の合計6店舗で開催した。また全国産業教育フェア山口大会では、子供達に楽しみながら「SDGs」の内容が学べるよう工夫して「SDGsゲーム」を実施した。



優秀賞

### 徳島県立徳島商業高等学校

#### ビジネス研究部

##### Palmsugar Story ～未来への希望～

カンボジアで活動。狙いは、1.食品加工工場に共有するヤシ砂糖を衛生的で安全なものにしたい 2.カンボジアの地方のヤシ砂糖農家の生活向上を図りたい 3.ヤシ砂糖を活用して、徳島県民の健康増進を図りたい 4.2020東京オリンピック・パラリンピックの関連施設に食材として供給したい。



優秀賞

## 今年のテーマは「持続可能な開発目標＝SDGs」

全国ユース環境活動発表大会の第1日目、国連大学のレセプションホールで全国ユース環境フォーラムが開催されました。今年のテーマは、「SDGs」。2つの基調講演の後、全国から参加した高校生が他校の生徒とともにグループワークを実施し、活発な意見交換が繰り広げられました。参加した高校生は、日頃よりSDGsに関する取り組みを実践している人も多く、レベルの高い交流の場になりました。



### 全国ユース環境フォーラム コンテンツ

#### プログラム① 国連大学研修

##### 「国連と国連大学、国連大学とSDGs」

#### プログラム② SDGsセミナー

##### 「持続可能な社会を目指して」

#### プログラム③ グループワーク

##### 「SDGsはつながっている。そして私も起点」

フォーラムでは、まずは国連大学の山田さんより、国連大学の紹介の後にSDGs達成に向けた研究について学びました。講師の今田さんからは、国内のSDGsの様々な取り組み事例を聴きました。ワークショップでは、今取り組んでいる自分の活動とSDGsの目標をラベリングし、他校の生徒と意見交換をしました。最後に、グループの代表者8人が感想や成果を発表しました。



国連大学サステナビリティ高等研究所  
コミュニケーションズ・アソシエイト  
山田 愛里さん



株式会社CSRインテグレーション 代表  
今田 裕美さん



株式会社セレスボサステナビリティ研究所  
越川 延明さん



一般社団法人SDGsとうほく 代表  
紅邑 晶子さん

### 全国ユース環境フォーラム フォトアルバム

高校生が主役！

他校の生徒と交流しました！





# 日本の未来 勇気づける活動そろそろ

読売新聞教育ネットワーク事務局記者 小川 祐二郎

「夢が希望につながる実践ばかり。日本も捨てたものではないと思いました」—今大会の審査講評で審査委員長の小澤紀美子・東京学芸大名誉教授はこう述べ、活動を発表した高校生たちに惜しみない賛辞を贈った。同感だ。それほど勇気づけられる内容だった。

日本ではいま、少子高齢化と人口減少、それに伴う財政難や働き手不足、地方経済の衰退などが同時進行している。「課題先進国」とはよく言ったもので、解決すべき課題が山積している。大人たちはマイナスをプラスに変えようと苦戦しているが、高校生たちも若者らしい発想と突進力で地域の課題に挑戦していることを、この大会で知った。しかも、面白がって活動しているのが発表からも伝わってきた。

大会に応募したのは北海道から九州・沖縄まで計152校。「日本も捨てたものではない」という言葉に納得する所以（ゆえん）だ。



五島高校  
漂着ゴミで作った海ガメ



恵那農業高校  
蜂蜜・エゴマ油



東筑紫学園高校  
湿原調査



名古屋商業高校  
うちわ製造・販売

## 科学的アプローチ

もうひとつ感心したのが各校とも「エビデンス」（科学的証拠）に基づいた活動を実践していること。環境大臣賞の長崎県立五島高は五島列島に漂着するゴミを調査するため、7時間かけて海岸線を一周し、大半の浜辺で漂着ゴミを確認した。ペットボトルに印刷されたバーコードから、製造・発売した企業の所在地がどの国なのかを調べる手法もさすがだ。

環境再生保全機構理事長賞の岐阜県立恵那農業高は、里山の環境を守るため、ミツバチに注目。どんな花に訪れているか、ミツバチが運んだ花粉のDNA分析から突き止めた。動脈硬化などに予防効果があるという報告が相次ぐ植物油のエゴマを栽培するアイデアも、情報収集感度の高さを感じる。

国連大学サステイナビリティ高等研究所 所長賞の東筑紫学園高（福岡県）は、地元のカルスト台地・平尾台の湿原調査のため、測量に加え、ドローンを使って植生も調べた。これらの成果には舌を巻くが、地元の大学や企業が技術支援していることも各校から報告され、若者たちが地域の多様な人を巻き込んで課題解決していく、大会の描く近未来社会を垣間見ることができた。発展途上国を活動場所にしたり、英訳した活動内容をネットで世界へ発信する学校もあった。

## 柔らかな頭で地域振興を

主催者が高校生たちの活動の道しるべにしているのが、2015年に国連サミットが採択した「持続可能な開発目標」（SDGs）だ。動植物の保全や気候変動など従来の環境保全活動が重視してきた項目に加え、貧困解消や健康、技術革新、街づくりなど17の目標を掲げている。

地球環境に与える負荷を極力小さくしながら、成長を図る企業・団体に投資が集まり、ブランドも向上する——30年時点のめざすべき社会像を提示することで、現在とのギャップを埋めていく試みだ。

読売新聞社賞の名古屋市立名古屋商業高は、水質保全や生物の多様性維持に欠かせない植物のアシを原料に、外国人旅行者向けのうちわなどを作った。広島県立世羅高はコイの養殖で有名な地元で発色の悪い稚魚が大量に捨てられていることを知り、稚魚を使った魚醤を作ったり、コイに水田の除草をさせて育てたコメを売り出したりする予定だ。

大人の考えつかない斬新なビジネスモデルが、現状打破へ向けた環境保全や起業につながればいい。

# 第4回 全国ユース環境

昨年11月から12月、「第4回 全国ユース環境活動発表大会 地方大会」が全国8か所で開催されました。日頃から熱心に環境活動を実践している全国の応募団体の中から、書類選考を通過した95団体が地方大会に出場。レベルの高い環境活動の発表と表彰式、高校生同士の交流が行なわれました。

## 北海道地方大会

日程：平成30年11月11日(日)  
会場：TKP 札幌駅カンファレンスセンター

### <出場高校>

北海道羽幌高等学校  
北海道旭川農業高等学校  
北海道北見北斗高等学校  
北海道美幌高等学校  
北海道標津高等学校  
北海道標茶高等学校①  
北海道標茶高等学校②  
北海道標茶高等学校③  
北海道士幌高等学校  
北海道帯広南商業高等学校  
市立札幌旭丘高等学校  
北海道七飯高等学校  
北海道函館水産高等学校

羽幌高等学校 1学年  
森林環境班  
サイエンスクラブ GAP  
環境改善班  
自然科学部 & 自然環境系科目  
環境ゼミ ガイド&ドローン班  
環境ゼミ きのこ班  
タンチョウトランスミッションプロジェクト  
環境専攻班・士幌環境講座  
NSE48 (NANSHO ECO 48)  
生物部  
科学部  
なかの研究所



記念撮影

### 表彰

- ◇ 環境省 北海道地方環境事務所長賞  
市立札幌旭丘高等学校
- ◇ 高校生が選ぶ特別賞  
北海道帯広南商業高等学校
- ◇ 先生が選ぶ特別賞  
北海道標茶高等学校 (ガイド&ドローン班)
- ◇ 協賛企業特別賞  
北海道美幌高等学校
- ◇ 協賛企業特別賞  
北海道標茶高等学校 (タンチョウP)

環境省 北海道地方環境事務所長賞



市立札幌旭丘高等学校

高校生が選ぶ特別賞



北海道帯広南商業高等学校

先生が選ぶ特別賞



北海道標茶高等学校 (ガイド&ドローン班)

## 東北地方大会

日程：平成30年11月11日(日)  
会場：TKP ガーデンシティPREMIUM 仙台東口

### <出場高校>

青森県立名久井農業高等学校  
青森県立むつ工業高等学校  
青森県立柏木農業高等学校  
岩手県立遠野緑峰高等学校  
宮城県志津川高等学校  
宮城県農業高等学校  
宮城県多賀城高等学校  
創学館高等学校  
山形県立山形西高等学校  
山形県立米沢興譲館高等学校  
山形県立村山産業高等学校  
福島県立平工業高等学校  
福島県立相馬農業高等学校

TEAM FLORA PHOTONICS & BUBBLE BOYS  
課題研究 地中熱融雪研究 班  
生物活用班  
草花研究班  
自然科学部  
科学部復興プロジェクトチーム  
SS科学部  
モノづくり倶楽部  
放課後実験倶楽部  
SSクラブ環境DNA班  
農業部バイオテクノロジー班  
生徒会  
農業クラブ



記念撮影

### 表彰

- ◇ 環境省 東北地方環境事務所長賞  
青森県立名久井農業高等学校
- ◇ 高校生が選ぶ特別賞  
福島県立平工業高等学校
- ◇ 先生が選ぶ特別賞  
福島県立相馬農業高等学校
- ◇ 協賛企業特別賞  
岩手県立遠野緑峰高等学校
- ◇ 協賛企業特別賞  
宮城県農業高等学校

環境省 東北地方環境事務所長賞



青森県立名久井農業高等学校

高校生が選ぶ特別賞



福島県立平工業高等学校

先生が選ぶ特別賞



福島県立相馬農業高等学校



# 活動発表大会 地方大会



## 関東地方大会

日程：平成30年12月16日(日)

会場：TKP 東京駅セントラルカンファレンスセンター

### <出場高校>

茨城県立竹園高等学校  
栃木県立栃木農業高等学校  
群馬県立利根実業高等学校①  
群馬県立利根実業高等学校②  
群馬県立尾瀬高等学校  
群馬県立勢多農林高等学校  
千葉県立鎌ヶ谷西高等学校  
千葉県立津田沼高等学校  
神奈川県立中央農業高等学校  
慶應義塾湘南藤沢高等部  
新潟県立佐渡総合高等学校  
静岡県立浜松城北工業高等学校  
学校法人静岡理科大学 星陵高等学校

### JRC部

農業土木科プロジェクト班  
生物資源研究部 イノシシチーム  
生物資源研究部 シカチーム  
理科部  
植物バイオ研究部  
Team KAMAGAYA  
理科部生物班 バイオ担当  
養豚部  
環境プロジェクト  
GIAHSプロジェクトチーム  
環境部  
バイオメタン研究班



記念撮影

### 表彰

- ◇環境省 関東地方環境事務所長賞  
新潟県立佐渡総合高等学校
- ◇高校生が選ぶ特別賞  
群馬県立利根実業高等学校(イノシシチーム)
- ◇先生が選ぶ特別賞  
学校法人静岡理科大学 星陵高等学校
- ◇協賛企業特別賞  
栃木県立栃木農業高等学校
- ◇協賛企業特別賞  
群馬県立勢多農林高等学校

環境省 関東地方環境事務所長賞



新潟県立佐渡総合高等学校

高校生が選ぶ特別賞



群馬県立利根実業高等学校(イノシシチーム)

先生が選ぶ特別賞



学校法人静岡理科大学 星陵高等学校

## 中部地方大会

日程：平成30年12月9日(日)

会場：TKP ガーデンシティPREMIUM 名古屋ルーセントタワー

### <出場高校>

石川県立津幡高等学校  
石川県立七尾東雲高等学校  
富山県立中央農業高等学校  
エクセラン高等学校  
岐阜県立岐山高等学校  
岐阜県立不破高等学校  
岐阜県立岐阜工業高等学校  
岐阜県立恵那農業高等学校  
名古屋市立名古屋商業高等学校  
愛知県立木曽川高等学校  
愛知県立知立東高等学校  
中部大学第一高等学校  
愛知県立時習館高等学校

### 園芸部

能登ちゃべちゃべ隊  
小動物研究班  
エクセラン 最初の1歩! チーム  
化学部  
自然科学部  
化学研究部  
花咲かみつばち倶楽部  
商品開発研究班  
総合実務部  
自然科学部  
ESD部  
SSH生物部



記念撮影

### 表彰

- ◇環境省 中部地方環境事務所長賞  
岐阜県立恵那農業高等学校
- ◇高校生が選ぶ特別賞  
名古屋市立名古屋商業高等学校
- ◇先生が選ぶ特別賞  
富山県立中央農業高等学校
- ◇協賛企業特別賞  
石川県立津幡高等学校
- ◇協賛企業特別賞  
岐阜県立不破高等学校

環境省 中部地方環境事務所長賞



岐阜県立恵那農業高等学校

高校生が選ぶ特別賞



名古屋市立名古屋商業高等学校

先生が選ぶ特別賞



富山県立中央農業高等学校

# 第4回 全国ユース環境



## 近畿地方大会

日程：平成30年11月18日(日)

会場：TKP ガーデンシティPREMIUM 大阪駅前

### <出場高校>

滋賀県立守山中学校・高等学校  
京都府立桂高等学校  
京都府立綾部高等学校  
大阪府立長尾高等学校  
清風高等学校  
大阪府立農芸高等学校  
大阪府立園芸高等学校  
近畿大学附属豊岡高等学校  
兵庫県立神戸商業高等学校  
兵庫県立香住高等学校  
神戸山手女子高等学校  
奈良学園中学校・高等学校  
和歌山県立田辺高等学校

SGH課題研究 ホタルチーム

第3研究群「地球を守る新技術の開発」研究班

分析化学部

理科研究部

水質改善班

酪農専攻

ブルーギルバスターズ

NSC 高校自然部 鶴部 ~ToLive~

理科研究部 県商りかけん

海洋科学科 アクアコース

(仮)カメラ部

SS研究チーム

田辺中学校・高校 生物部



記念撮影

### 表彰

- ◇ 環境省 近畿地方環境事務所長賞  
京都府立綾部高等学校
- ◇ 高校生が選ぶ特別賞  
京都府立桂高等学校
- ◇ 先生が選ぶ特別賞  
兵庫県立神戸商業高等学校
- ◇ 協賛企業特別賞  
滋賀県立守山中学校・高等学校
- ◇ 協賛企業特別賞  
大阪府立農芸高等学校

環境省 近畿地方環境事務所長賞



京都府立綾部高等学校

高校生が選ぶ特別賞



京都府立桂高等学校

先生が選ぶ特別賞



兵庫県立神戸商業高等学校

## 中国地方大会

日程：平成30年11月18日(日)

会場：TKP ガーデンシティ広島駅前大橋

### <出場高校>

山陽女子高等学校  
岡山県立津山工業高等学校  
岡山県立矢掛高等学校  
岡山県立勝山高等学校  
岡山学芸館高等学校  
岡山県立玉野高等学校  
広島県立世羅高等学校  
広島市立広島工業高等学校  
出雲西高等学校  
島根県立江津工業高等学校  
山口県立防府商工高等学校

地歴部

化学部

チャリボーイズ

夢現プロジェクト

ガタガタマリナース

チリメンモンスター研究班

鯉米

広島市エグリーン・プロジェクト

インターアクトクラブ

KM班

3年課題研究 ホットショップ 店舗経営班



記念撮影

### 表彰

- ◇ 環境省 中国四国地方環境事務所長賞  
広島県立世羅高等学校
- ◇ 高校生が選ぶ特別賞  
山口県立防府商工高等学校
- ◇ 先生が選ぶ特別賞  
岡山県立津山工業高等学校
- ◇ 協賛企業特別賞  
山陽女子高等学校
- ◇ 協賛企業特別賞  
岡山県立勝山高等学校

環境省 中国四国地方環境事務所長賞



広島県立世羅高等学校

高校生が選ぶ特別賞



山口県立防府商工高等学校

先生が選ぶ特別賞



岡山県立津山工業高等学校



# 活動発表大会 地方大会



## 四国地方大会

日程：平成30年12月16日(日)

会場：サンポートホール高松

### <出場高校>

徳島県立新野高等学校  
徳島県立小松島西高等学校勝浦校  
徳島県立小松島高等学校  
徳島県立徳島商業高等学校  
香川県立笠田高等学校  
愛媛県立上浮穴高等学校  
愛媛県立今治西高等学校  
高知県立伊野商業高等学校

緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム

ビジネス研究部

植物バイオコース

カホンプロジェクトチーム

生物部

和紙部



記念撮影

環境省 中国四国地方環境事務所 四国事務所長賞



徳島県立徳島商業高等学校

高校生が選ぶ特別賞



愛媛県立上浮穴高等学校

先生が選ぶ特別賞



徳島県立新野高等学校・  
徳島県立小松島西高等学校勝浦校・  
徳島県立小松島高等学校

### 表彰

- ◇ 環境省 中国四国地方環境事務所 四国事務所長賞  
徳島県立徳島商業高等学校
- ◇ 高校生が選ぶ特別賞  
愛媛県立上浮穴高等学校
- ◇ 先生が選ぶ特別賞  
徳島県立新野高等学校・  
徳島県立小松島西高等学校勝浦校・  
徳島県立小松島高等学校
- ◇ 協賛企業特別賞  
愛媛県立今治西高等学校

## 九州・沖縄地方大会

日程：平成30年12月9日(日)

会場：TKP 博多駅前シティセンター

### <出場高校>

福岡県立伝習館高等学校  
福岡工業大学附属城東高等学校  
東筑紫学園高等学校  
大分県立玖珠美山高等学校  
大分県立大分東高等学校  
長崎県立対馬高等学校  
長崎県立口加高等学校  
長崎県立諫早農業高等学校  
長崎県立五島高等学校  
熊本県立岱志高等学校  
宮崎県立都城工業高等学校  
鹿児島県立鶴翔高等学校  
沖縄県立中部農林高等学校

自然科学部生物班

環境委員会

理科部 広谷湿原保全プロジェクト

地域産業科 おおいたうつくし隊

農業部

ユネスコスクール部

グローバルコース 環境班

食品科学部

五島環境部

理科部

化学技術部

作物班

エコ・リサーチ部



記念撮影

環境省 九州地方環境事務所長賞



長崎県立五島高等学校

高校生が選ぶ特別賞



東筑紫学園高等学校

先生が選ぶ特別賞



長崎県立諫早農業高等学校

### 表彰

- ◇ 環境省 九州地方環境事務所長賞  
長崎県立五島高等学校
- ◇ 高校生が選ぶ特別賞  
東筑紫学園高等学校
- ◇ 先生が選ぶ特別賞  
長崎県立諫早農業高等学校
- ◇ 協賛企業特別賞  
大分県立玖珠美山高等学校
- ◇ 協賛企業特別賞  
鹿児島県立鶴翔高等学校

# < 第4回 全国ユース環境活動発表大会 > 応募高校一覧

## 2018年度 全国の高校生の環境活動（全153団体）

今年も、全国の高校生が熱心に取り組んでいる環境活動の情報がたくさん集まりました。ご紹介いたします。今後の活動の参考に、また高校同士での情報交換や交流の一助としてご活用ください。

### ◇ 特長のある地域活動がいっぱい！

今年は、地方大会を開催したこともあり、特長のある地域の環境活動を多数ご応募いただきました。

本誌は、活動名だけの記載ですが、全国ユース環境ネットワークのWebサイトに

それぞれの団体の活動内容を掲載してあります。詳しくは、Webサイトの情報誌

「全国ユース環境ネットワーク特別号 全国ユース環境活動事例集 2018」をご覧ください。

### ◇ SDGs関連の環境活動も急増！

更に今年の特長は、「持続可能な開発目標＝SDGs」に関連する環境活動が急増しています。

全国の高校生が、持続可能な未来社会づくりの活動を進めています。

高校生同士、また地域の方々とSDGsでぜひパートナーシップを築いてください。

「全国ユース環境活動発表大会」の地区別の都道府県は、環境省地方環境事務所の所管する都道府県別に区分しています。

< 表の見方 >

上段：高校名  
中段：団体名  
下段：活動名

## 北海道

14 団体

### 北海道羽幌高等学校

羽幌高等学校 1学年

羽幌シーバードフレンドリープロジェクト

### 北海道美幌高等学校

環境改善班

美幌の自然を守れ! Part5  
～地域とともに歩む自然環境改善を目指して～

### 北海道標茶高等学校

地域環境系列 環境ゼミ きのこ班

キノコから見える自然の分解と共生を伝える活動

### 北海道帯広南商業高等学校

NSE48 (NANSHO ECO 48)

NSE48のエコ活動

### 北海道函館水産高等学校

なかの研究所

大沼および流入河川の水質改善活動

### 青森県立むつ工業高等学校

課題研究 地中熱融雪研究班

地中熱利用による融雪研究

### 青森県立名久井農業高等学校

TEAM FLORA PHOTONICS & BUBBLE BOYS

安全な水とお腹いっぱい食料を届けるために

### 宮城県気仙沼高等学校

自然科学部

環境のバロメーターとしての十八鳴浜の観察

### 宮城県多賀城高等学校

SS科学部

Bursa. バスターズ  
～多賀城高校の松枯れの原因を探る PART2～

### 北海道旭川農業高等学校

森林環境班

ササの有効利用  
～森林バイオマスとしてのササ資源の利用～

### 北海道標津高等学校

自然科学部 & 自然環境系科目

身近な環境理解から広がる地域との絆

### 北海道標茶高等学校

タンチョウトランスミッションプロジェクト

タンチョウと地域の共生を目指して Vol.II  
～生と死に着目した3年目の取り組み～

### 市立札幌旭丘高等学校

生物部

トンボの調査から自然環境を診断

### 北海道釧路明輝高等学校

科学部

自然環境に目を向ける人を増やしたい

### 青森県立柏木農業高等学校

生物活用班

白神山からニセアカシアを追いかそう  
～世界遺産の未来のために～

### 岩手県立遠野緑峰高等学校

草花研究班

遠野の宝「ホップ和紙」  
～強靱な和紙の開発と新たな利用価値を求めて～

### 宮城県志津川高等学校

自然科学部

南三陸の自然の再生力と世界に誇る生物多様性

### 北海道北見北斗高等学校

サイエンスクラブ GAP

常呂川でつながる水ミーティング  
～水環境を大切にすまをまちを目指して～

### 北海道標茶高等学校

地域環境系列 環境ゼミ ガイド&ドローン班

みどりひととをつなぐ場をわたしたちの高校で

### 北海道士幌高等学校

環境専攻班・士幌環境講座

士幌の原植生  
カシワ林を後世に伝えるために

### 北海道七飯高等学校

科学部

渡島大沼における生物多様性を保全する取り組み

## 東北

23 団体

### 八戸工業高等専門学校

ろぼっと娘 in モンゴル

リサイクル支援ゲームの開発

### 秋田県立秋田北鷹高等学校

科学部ESD班

地球温暖化の理解・意識に対する  
環境教育プログラムの実践

### 宮城県利府高等学校

ROGER(利府環境放射線観測班)・自然科学部

環境放射線・紫外線観測を通じての大気の状態の  
経時観測・告知の活動および地域との連携



|                                                                                     |                                                                                       |                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>仙台城南高等学校</b><br><b>自然科学部</b><br>知ることこそは守ること！<br>みんなで守ろう八木山のトウホクサンショウウオ           | <b>宮城県仙台西高等学校</b><br><b>地学部 気象・熱雷研究グループ</b><br>仙台上空における大気不安定度の変化について<br>～地球温暖化の影響との関連 | <b>宮城県農業高等学校</b><br><b>科学部復興プロジェクトチーム</b><br>桜塩から創れ！循環型農業「桜の国”サクラランド”」<br>～被災農業高校の役目を自覚した私達の復興への挑戦 NEXT STAGE～ |
| <b>仙台高等専門学校 名取キャンパス</b><br><b>チームマテ環</b><br>仙台高専発！ベルチェカー<br>～廃熱を有効利用可能な社会を目指して～     | <b>山形県立酒田光陵高等学校</b><br><b>エネルギーで環境保全隊</b><br>再生可能エネルギーを利用して、<br>環境保全に全力で取り組む          | <b>山形県立村山産業高等学校</b><br><b>農業部 バイオテクノロジー班</b><br>地域特産物ソバに適した植物共生微生物<br>エンドファイトの探索と利用                            |
| <b>創学館高等学校</b><br><b>モノづくり倶楽部</b><br>工業学習を活用した持続可能な社会づくり<br>～地域協働の環境活動実践～           | <b>山形県立山形西高等学校</b><br><b>放課後実験倶楽部</b><br>メダカの学校<br>～小学生とともに学ぶ地域の生き物～                  | <b>山形県立置賜農業高等学校</b><br><b>圃場整備班</b><br>みんなでつくる未来の農村<br>～理想の圃場整備事業を求めて～                                         |
| <b>山形県立米沢興譲館高等学校</b><br><b>SSクラブ環境DNA班</b><br>環境DNAを用いた地域の外来生物の<br>生息マップ作成          | <b>山形県立米沢興譲館高等学校</b><br><b>チーム「コンクリート」!</b><br>遮熱性コンクリートについて                          | <b>福島県立相馬農業高等学校</b><br><b>農業クラブ</b><br>南そうまハマナス Project                                                        |
| <b>福島県立平工業高等学校</b><br><b>生徒会</b><br>「もったいない!」からはじまる環境活動                             | <b>関 東</b><br>23 団体                                                                   |                                                                                                                |
| <b>栃木県立那須拓陽高等学校</b><br><b>大山農場プロジェクト</b><br>「オシャラクブナの里」創造計画                         | <b>栃木県立栃木農業高等学校</b><br><b>農業土木科プロジェクト班</b><br>土のうプロジェクト<br>～千里の道も一袋から～                | <b>茨城県立竹園高等学校</b><br><b>JRC部</b><br>穴塚の谷津田における古代米プロジェクト                                                        |
| <b>群馬県立利根実業高等学校</b><br><b>生物資源研究部</b><br>イノシシの色覚を利用した侵入防護研究と普及活動                    | <b>群馬県立利根実業高等学校</b><br><b>生物資源研究部</b><br>赤城山におけるニホンジカの生態・行動調査                         | <b>群馬県立尾瀬高等学校</b><br><b>理科部</b><br>尾瀬ニホンジカ調査<br>～自然との共生を考える～                                                   |
| <b>千葉県立松戸南高等学校</b><br><b>Team Quad-E</b><br>地域の生態系保全のための技術の研究                       | <b>千葉県立鎌ヶ谷西高等学校</b><br><b>Team KAMAGAYA</b><br>伝える、広がる！<br>Team KAMAGAYA!             | <b>群馬県立勢多農林高等学校</b><br><b>植物バイオ研究部</b><br>国の名勝及び天然記念物「冬桜」の<br>保全に関する研究                                         |
| <b>千葉県立津田沼高等学校</b><br><b>理科学部生物班 バイオ担当</b><br>アオサのバイオエタノール化への挑戦                     | <b>千葉県立鎌ヶ谷西高等学校</b><br><b>2年1組</b><br>私たちの防災対策                                        | <b>昭和女子大学附属昭和高等学校</b><br><b>生徒会 総務部</b><br>私たちの学校からはじめるSDGs                                                    |
| <b>法政大学国際高等学校</b><br><b>法政国際エコ・アクション・プロジェクトチーム</b><br>50年後の子どもたちにつなぐ緑の惑星・地球         | <b>神田女学園高等学校</b><br><b>地球市民</b><br>破れた靴下とSDGs                                         | <b>千葉県立津田沼高等学校</b><br><b>環境プロジェクト</b><br>次世代の環境と経済に！<br>ecoを繋ぐ Logy&Nomy                                       |
| <b>新潟県立佐渡総合高等学校</b><br><b>GIAHSプロジェクトチーム</b><br>佐渡の社会を考える！<br>GIAHSを用いた地域活性化プロジェクト！ | <b>神奈川県立中央農業高等学校</b><br><b>養豚部</b><br>モルト粕による地域資源循環をめざして                              | <b>学校法人静岡理工科大学 星陵高等学校</b><br><b>バイオメタン研究班</b><br>バイオメタンを利用した新しい暮らしの提案                                          |
| <b>静岡県立静岡高等学校</b><br><b>生物部河川班</b><br>静岡市内の七河川におけるミクリ調査                             | <b>加藤学園高等学校</b><br><b>化学部</b><br>黄瀬川における化学的視点からの調査<br>～溶岩石の浄化機能～                      | <b>静岡県立浜松城北工業高等学校</b><br><b>環境部</b><br>地域の自然を守る<br>「地球にやさしいエンジニア」を目指して                                         |
| <b>オイスカ高等学校</b><br><b>自然科学部</b><br>浜名湖生物資源マングロープガニの研究                               | <b>中 部</b><br>22 団体                                                                   |                                                                                                                |
| <b>石川県立七尾東雲高等学校</b><br><b>能登ちゃべちゃべ隊</b><br>能登の里山（棚田）環境と景観保護活動から繋がる。<br>地域活性化プロジェクト  | <b>石川県立津幡高等学校</b><br><b>園芸部</b><br>伝統と文化を紡ぐ養蚕復活プロジェクト                                 | <b>富山県立中央農業高等学校</b><br><b>小動物研究班</b><br>農業高校生が取り組む<br>「とってもかわいいSDGs」プロジェクト                                     |
| <b>長野県南安曇農業高等学校</b><br><b>土木研究部</b><br>廃コンクリートに命を。土木に未来を<br>～ピザ窯でつなぐ地域の輪～           | <b>石川県立津幡高等学校</b><br><b>朱鷺サポート隊</b><br>トキ保護の普及・啓発活動                                   | <b>エクセラン高等学校</b><br><b>エクセラン 最初の1歩！チーム</b><br>エクセラン エコプロジェクト                                                   |

# < 第4回 全国ユース環境活動発表大会 > 応募高校一覧

## 長野県松本工業高等学校

### じんべーず

ICTを使った自然あふれる信州を紹介する  
デジタル紙芝居活動

## 岐阜県立岐山高等学校

### 化学部

エネルギーと環境問題を解決する  
カラフル太陽電池の研究

## 愛知県立豊橋東高等学校

### GLOBE

東三河の自然の語り部になろう

## 愛知県立刈谷工業高等学校

### 生徒会

人力発電機の製作  
～若いエネルギーを電気エネルギーに～

## 名古屋経済大学高蔵高等学校

### 理科部

ボランティアから始まった環境保護活動

## 長野県松本工業高等学校

### ハイ☆ピスカス

マレーシアで学ぶ、2030年までにできること

## 岐阜県立岐阜工業高等学校

### 化学研究部

私たちでもできること・私たちだからできること

## 愛知県立時習館高等学校

### SSH生物部

三河湾の環境調査 part.6  
～環境変化の原因～

## 中部大学第一高等学校

### ESD部

にしん COOL CHOICE プロジェクト

## 愛知県立木曽川高等学校

### 総合実務部

国の天然記念物 木曽川のイタセンバラを地域の宝に！  
～ 私たちにできることは何か？～

## 滋賀県立八日市南高等学校

### 花緑デザイン科 ランドスケープデザイン班

猪子山  
～高校生コーディネートによる里山保全活動の12年～

## 岐阜県立恵那農業高等学校

### 花咲かみつばち倶楽部

花咲かみつばちプロジェクト  
～みつばちとともに里山の調査・保全・活用～

## 岐阜県立不破高等学校

### 自然科学部

増加するニホンジカと豊かな里山のバランスを  
保つために私たちができること

## 愛知県立知立東高等学校

### 自然科学部

猿渡川の生態系について  
～外来生物の影響と地域への情報発信～

## 名古屋市立名古屋商業高等学校

### 商品開発研究班

章から“Zoo”Flight

## 愛知県立佐屋高等学校

### 佐屋高校 文鳥プロジェクトチーム

命をつなぐ！  
弥富の手乗り文鳥よ再び！

## 滋賀県立守山中学校・高等学校

### SGH課題研究 ホタルチーム

守山ホタル再生プロジェクト

## 京都府立綾部高等学校

### 分析化学部

地域と歩む由良川保全活動  
～由良川レンジャー奮闘記～

## 関西創価高等学校

### ISS EarthKAM Project Team

TCAP  
“Think Cosmically and Act Personally!”

## 大阪府立園芸高等学校

### ブルーギルバスターズ

特定外来生物ブルーギルの食性調査と防除活動

## 大阪府立農芸高等学校

### 総合環境部

ひろがれ合鴨水稲同時作

## 神戸山手女子高等学校

### (仮)カメラ部

神戸市立相楽園におけるニホンイシガメ保全の試み

## 兵庫県立洲本実業高等学校

### ソフトエネルギー研究ユニット

持続可能な未来社会にむけて  
ー ひかりプロジェクトー

## 奈良学園中学校・高等学校

### SS研究チーム

校内サギソウ群落の保全プロジェクト

## 中 国

18団体

## 岡山県立邑久高等学校

### 自然環境グループ2018

タナゴ類保全プロジェクト  
～二枚貝の長期飼育に挑戦～

## 近 畿

25団体

## 京都府立木津高等学校

### 生徒会

毎月15日は地域クリーン活動だ

## 京都府立久美浜高等学校

### 農業クラブ

京丹後市久美浜町における  
海岸マツ林の再生を目指して

## 大阪府立茨木高等学校

### 茨高 家庭部

笑顔でつなぐ環境！食と子ども

## 清風高等学校

### 水質改善班

水環境の新たな改善方法  
～アオコの抑制とヘドロの再利用方法～

## 大阪府立堺工科高等学校 定時制課程

### 生徒会活動部

エコ・プロジェクト

## 兵庫県立神戸商業高等学校

### 理科学研究部 県商りかけん

海岸漂着ゴミの回収と調査研究

## 近畿大学附属豊岡高等学校

### NSC 高校自然部 鶴部 ～ToLive～

世代を超えた繋がり  
～持続可能なコウノトリ生息地保全活動による地域貢献～

## 和歌山県立向陽高等学校

### 環境科学科

ペットボトルの分別を世界中に広めるために

## 岡山県立津山工業高等学校

### 化学部

竹の有効活用  
～自分たちにできる地域貢献～

## 和歌山県立田辺高等学校

### 田辺中学校・高校 生物部

生物多様性豊かな鳥の巣半島を守ろう  
～アフリカツメガエルの駆除活動～

## 岡山県立瀬戸高等学校

### ぴーち

お肌ピチピーチ



|                                                                              |                                                                                   |                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>岡山学芸館高等学校</b><br><b>ガタガタマリナーズ</b><br>里海創生<br>～アマモ場再生活動から人工干潟の保全まで～        | <b>岡山商科大学附属高等学校</b><br><b>工業技術同好会</b><br>海洋と工業技術                                  | <b>山陽女子高等学校</b><br><b>山陽女子中学校・高等学校 地歴部</b><br>協働体制の確立による海洋ごみ問題の解決大作戦                             |
| <b>岡山県立高松農業高等学校</b><br><b>高農環境を考える会</b><br>「一人の百歩より 百人の一步」プロジェクト             | <b>岡山県立玉野高等学校</b><br><b>チリメンモンスター研究班</b><br>チリメンモンスターから見た海の世界                     | <b>岡山県立勝山高等学校</b><br><b>夢現プロジェクト</b><br>バイオディーゼル燃料を流通させるには                                       |
| <b>岡山県立矢掛高等学校</b><br><b>チャリボーイズ</b><br>「得得市」でチャリ発電！                          | <b>岡山県立矢掛高等学校</b><br><b>サイエンス部</b><br>スイゲンゼニタナゴの保護                                | <b>青翔開智高等学校</b><br><b>探究農業班</b><br>鳥取の農業人口減少を食い止める<br>～アプリ提供による家庭菜園の簡易化を目指して～                    |
| <b>米子工業高等専門学校</b><br><b>B&amp;C 研究同好会</b><br>卵殻廃棄物のリサイクルによる建材の開発             | <b>広島県立世羅高等学校</b><br><b>鯉米</b><br>錦鯉廃棄稚魚を活用した鯉米・魚醤生産による地域活性化                      | <b>広島市立広島工業高等学校</b><br><b>広島市エグリーン・プロジェクト</b><br>高校生による、持続可能な社会の実現                               |
| <b>出雲西高等学校</b><br><b>インターアクトクラブ</b><br>出雲発！海岸清掃及びマイクロプラスチック問題についての考察         | <b>島根県立江津工業高等学校</b><br><b>KM 班</b><br>環境 to ものづくり                                 | <b>山口県立防府商工高等学校</b><br><b>3年課題研究 ホットショップ 店舗経営班</b><br>持続可能な環境活動を目指して<br>～エンカル消費が世界を変える～          |
| <div> <div>四国</div> <div>6 団体</div> </div>                                   |                                                                                   |                                                                                                  |
| <b>香川県立笠田高等学校</b><br><b>植物バイオコース</b><br>よみがえれ 我がふる里の自然<br>～ササユリの保護と増殖に関する研究～ | <b>愛媛県立今治西高等学校</b><br><b>生物部</b><br>今治市蒼社川の生態調査と都市河川としての保全                        | <b>愛媛県立上浮穴高等学校</b><br><b>カホンプロジェクトチーム</b><br>森林(もり)の想いを音色にのせて<br>～カホンを通じた森林環境教育の実践とSDGs達成に向けた取組～ |
| <b>高知県立伊野商業高等学校</b><br><b>和紙部</b><br>土佐和紙の魅力を伝えよう！                           | <div> <div>九州・沖縄</div> <div>22 団体</div> </div>                                    |                                                                                                  |
| <b>福岡工業大学附属城東高等学校</b><br><b>環境委員会</b><br>全校生徒一丸となって行う環境活動                    | <b>中村学園女子中学校・高等学校</b><br><b>インターアクトクラブ</b><br>奉仕活動                                | <b>福岡県立伝習館高等学校</b><br><b>自然科学部生物班</b><br>柳川掘割をニホンウナギのサンクチュアリにするための研究と活動                          |
| <b>大分県立日田高等学校</b><br><b>科学部生物班</b><br>絶滅危惧種ミツガシワの謎を追え！<br>～知られざるミツガシワの謎に迫る～  | <b>大分県立日田高等学校</b><br><b>ジビエ班</b><br>ジビエを食べて綺麗に美しく！<br>～食を通じた地域活性化を探る～             | <b>大分県立玖珠美山高等学校</b><br><b>地域産業科 おおいとうつくし隊</b><br>私たちの手で、日田・玖珠の自然と環境を守れ！<br>～循環型農業をめざして～          |
| <b>大分県立大分東高等学校</b><br><b>農業部</b><br>地域交流活動を通じた自然保全活動の取り組みについて                | <b>佐賀県立佐賀北高等学校</b><br><b>地学部</b><br>小型の雨量計を作成し、局地的な雨を調べる<br>ツシマウラボシシジミの保護活動       | <b>長崎県立諫早農業高等学校</b><br><b>食品科学部</b><br>規格外びわの有効利用法<br>廃棄物「ゼロ」への挑戦                                |
| <b>長崎県立口加高等学校</b><br><b>グローバルコース 環境班</b><br>持続可能な環境を口之津から<br>～与茂作川復活プロジェクト～  | <b>長崎県立対馬高等学校</b><br><b>ユネスコスクール部</b><br>対馬市役所等と連携した<br>ツシマウラボシシジミの保護活動           | <b>長崎県立五島高等学校</b><br><b>五島環境部</b><br>島から世界を巻き込み！<br>海から生み出すお宝大作戦！                                |
| <b>熊本県立岱志高等学校</b><br><b>理科部</b><br>荒尾干潟の生態系多様性研究とアウトリーチ活動                    | <b>熊本県立南稜高等学校</b><br><b>バルーンハート</b><br>ふうせんかずらプロジェクト                              | <b>宮崎県立都城工業高等学校</b><br><b>化学技術部</b><br>都城地区河川水質改善プロジェクトから始めた<br>8年間の環境保全活動                       |
| <b>鹿児島県立鶴翔高等学校</b><br><b>作物班</b><br>水産廃棄物「ウニ」の有効活用<br>～リサイクルで環境保全～           | <b>鹿児島県立市来農芸高等学校</b><br><b>ツバキ班</b><br>ツバキプロジェクト<br>～家畜にも人にも優しい畜舎の環境改善と畜産振興を目指して～ | <b>鹿児島県立薩南工業高等学校</b><br><b>課題研究チーム</b><br>循環型社会を実現するために                                          |
| <b>鹿児島県立喜界高等学校</b><br><b>喜界島サンゴ礁科学研究所</b><br>サンゴ礁から見る未来の海の様相                 | <b>沖縄県立中部農林高等学校</b><br><b>エコ・リサーチ部</b><br>製紙スラッジを活用したエコ資材の開発<br>～産業廃棄物で癒しの空間づくり～  | <b>沖縄県立南部農林高等学校</b><br><b>科学部</b><br>国場川・長堂川の河川調査Ⅴ<br>～きれいで遊べる川にするために～                           |



協栄産業株式会社

茨城県立友部高等学校



研修後、古澤社長と記念撮影

## 『分ければ資源、混ぜればゴミ』知っていますか？PETボトルリサイクル！

日本有数のPETボトルリサイクル技術を誇る協栄産業グループ。今回、茨城県立友部高等学校のみなさんが協栄産業グループの最新工場＝ジャパンテック株式会社・東日本PETボトルMRセンターを訪問し、高校生環境研修が実施されました。高校生にとって最も身近な飲料容器「PETボトル」のリサイクルを知ることで、限りある資源を次世代につなげるために今の高校生ができることを学びました。研修の内容を紹介します。

### 世界が騒然、資源ごみ問題

2017年、中国政府は一部の生活系資源ごみが汚れたまま届けられ、環境汚染を引き起こしていると発表、2018年から使用済みPETボトルを含む廃プラスチックの輸入を停止しました。これまで中国に資源ごみを輸出していた日本をはじめとする欧州、米国、韓国などの使用済みボトルの行き先が失われ、混乱が続いています。また廃プラスチックをはじめとする資源ごみ問題が世界で騒がれ、連日ニュースに取り上げられています。これを受け外食産業では、使い捨てられているプラスチック製ストローの廃止などの動きが広がっています。また、プラスチック製品に関わる企業はリサイクル原料の採用を相次いで発表するなど、世界の潮流である環境問題への対応を迫られています。

### 日本初「ボトルtoボトル」そして世界初「FtoPダイレクトリサイクル」へ

協栄産業グループは、不純物を完全に排除し新たな再生技術の開発で、これまで不可能とされていたPETボトルが再びPETボトルに蘇る日本初の「ボトルtoボトル」リサイクルを2011年に実現、翌年にはリサイクル樹脂100%のボトルが登場し※1、PETボトルを作る際に新たな石油資源を使う必要がない「究極の資源循環」を実現しました。そして2018年、大手飲料メーカーと協働で世界初「FtoP※2ダイレクトリサイクル」技術の開発に成功。PETフレークから直接PETボトルの素であるプリフォームを成形できるため、製造・輸送など多くの工程が必要だった従来の再生法と比較するとCO2排出量を約25%削減できます。こうした優れた環境効果から、国内に溢れるPETボトルの有効活用の担い手として、協栄産業のリサイクル技術は大きな期待を集めています。 ※1：メカニカル手法では同社が世界初 ※2：フレークtoプリフォーム

### みなさんにもできること

資源のない日本ですがPETボトルという貴重な資源を国内循環することで、地下資源の利用抑制と温暖化防止に繋がります。飲み終わった後にラベルを取って中を洗うことで、その後に生まれるリサイクル樹脂の品質が向上し、再びPETボトルに生まれ変わることができます。是非協力を続けて頂き、地球の未来を明るくしましょう。

#### まずは会議室で研修



#### 続いて工場視察研修



#### 再生PETの商品群



### 茨城県立友部高等学校

#### 感想



小林 優斗さん

私は、今回の企業環境研修を通して、リサイクルの大切さや世界全体が環境について深く考えていることを知りました。また、工場の中の機械を見て、とても素晴らしいと思いました。私は、環境を守るために自分ができることをしていきたいと思いました。



谷口 来さん

今の時代、AIが働き手になるという話がありますが、今回の工場見学を通してCCDカメラでも見落としてしまうものを、最後に人間の手で分別しているところをみて、人間にしかできないやりがいのある素晴らしいお仕事だと思いました。



大越 来夢さん

今回の工場見学を通して、環境の事やリサイクルの事をたくさん知ることができました。また、ゴミの分別の大切さを知ることができました。すごく良い体験をすることができました。教えていただいたことをこれからも活かして人間として成長していきたいと思っています。



小松崎 泉さん

今回、企業環境研修を通して、世界の国々が抱えている環境問題に積極的に取り組んでいるのが分りました。そしてリサイクルについて、社長さんのお話や工場見学を通してPETボトルを100%リサイクルしてペットボトルとして再利用し、さらに二酸化炭素も削減していることを聞き、とても素晴らしいことだと思いました。私も、これから環境問題についてよく考えていきたいです。この研修を通して、心の成長につなげることができたと感じます。



齋藤 明日香さん

今回の工場見学を通して、普段何気なく当たり前のようにペットボトルを捨ててしまっていたが、工場の方々が一生懸命に働いて、地球温暖化などの環境問題に取り組んでいることが分かりました。今回の企業研修は、私の心に変化を与える素晴らしい機会になりました。ありがとうございました。



柿沼 祐介さん

私は、企業環境研修で様々なことを学びました。普段、ペットボトルのラベルやキャップを一緒に捨ててしまっていたことがありました。今回の研修を受けて、リサイクルされるペットボトルを機械や手作業で選別しているところを見て、これからはちゃんとゴミの分別ができる人間に成長したいと思いました。



米川 蒼馬さん

今回の工場見学では、協栄産業の仕事や古澤社長について、たくさんのお話を聞かせていただくことができました。工場見学では、リサイクルの重要性の深い話を聞くことができ、すごく勉強になりました。また、協栄産業の実績や最新リサイクル技術を開発しているところを知ることができ、この貴重な体験を大切にしていきたいと思いました。



千代 真奈さん

今回、社長さんのお話と工場見学で学ばせていただいたことは、私の心の成長にすごくつながりました。とても感謝しています。私は、この機会を大切に、今回学んだ知識や一つのことに対する情熱をもち続け、夢に向かって進んでいきたいと思っています。



# MS&AD 三井住友海上

## 三井住友海上火災保険株式会社

### 法政大学国際高等学校

#### エコ・アクション・プロジェクト



研修後、城講師と記念撮影

## 持続可能な社会への「私」の関わり ～企業が取り組むSDGsから考える～

グローバルな保険・金融サービス事業を展開する三井住友海上は、社会と自社、両方のサステナビリティにプラスとなる「CSV取組」を重点課題に掲げています。企業が取り組むSDGsとは何か？

今回、法政大学国際高校エコ・アクション・プロジェクトのメンバーが本社施設「ECOM駿河台」で研修を受け、とても大きな学びを得ました。

### ◆2030年に目指す社会像は、レジリエントでサステナブルな社会。

「レジリエントでサステナブルな社会」とは、予期せぬ出来事に柔軟に適応して影響を低減して迅速に回復する力を持つ（レジリエント）、持続可能（サステナブル）な社会のこと。三井住友海上は、その道しるべとしてSDGsを活用しています。

### ◆保険会社が本業として社会との共通価値の創造に取り組む。(CSV取組とSDGs)



### ◆CSV取組を支えるための取組みの1つとして本社ビルでのSDGsとのかかわり。例えば・・・

- 本社ビル屋上庭園は、「生物多様性に配慮した」先進的な緑地。
  - ① 緑のトップランナーを目指す
  - ② エコロジカルネットワークの形成
  - ③ 緑陰にあふれる、良好な街並み景観の保全・拡充
- 本社ビル地下には、3500㎡の雨水槽を設置！
  - （平常時） 雨水の有効活用、人が楽しめる緑地、いきものが集まる緑地、ヒートアイランド現象抑制
  - （災害時） 雨水槽/緑地で雨水を一時的に貯めて都市型水害の低減



本社ビルの屋上庭園全景

## グリーンレジリエンス

### 「SDGs」、「持続可能な社会」のかかわり方は、さまざま

誰かだけ、どこかの国だけ、が取り組むだけでは間に合わないのが現在の地球の状況です。みなさんは「私」としてどんなことをしていきたいですか？



研修風景

## 法政大学国際高等学校 エコ・アクション・プロジェクト

### 感想

この研修後に行われた校内のSGHの代表者会議で、私たちは「食品廃棄の問題」や「緑化の取り組み」について議題提案をいたしました。



藤掛 そらさん

三井住友海上火災保険さんの取り組みは環境に優しく、人間の心も豊かになるというバランスがうまく取れていて素晴らしいと思いました。



松原 愛莉さん

緑がたくさんあって、とても素敵な所でした。都会に緑を増やすと色々なメリットがあることがわかって、とても良い経験ができました。



今 愛海さん

私たちの行動ひとつひとつが明日の地球を形作っていると実感しました。自分の強み、特性に関連する問題から考えていきたいです。



久野 賢登さん

企業の取り組みについて知る機会が少ない。今回の研修では具体的な目標についても学ぶことができ、個人的にもチームにも大きな財産になりました。



若尾 莉奈さん

雨水を利用して植物の水やりなど、小さなことでも実践することが大切だと感じました。出来ることから行動していきたいです。



熊谷 光花さん

長所が目立つ屋上庭園の影ある苦難を克服しながらのPDCAの継続的実施は、回りの模範となる環境にも素晴らしい活動だと思いました。



吉田 真帆さん

1人にも生き物にも優しくすることは難しいけれど全てにこだわりたい」という言葉に感銘を受け、環境に対する考えが変わりました。



鵜藤 マリさん

グリーンレジリエンスに感動しました。温室効果ガスはどんどん作られていきます。だからその分、緑でいっぱいにしてほしいです。



# SGホールディングス株式会社

SGホールディングスグループは佐川急便を中核に持つ総合物流企業グループであり、デリバリー事業、ロジスティクス事業および不動産事業などの事業分野でビジネスを展開しています。26,000台以上の車両を使用し、グループ全体では約43万t（2017年度）のCO<sub>2</sub>を排出している物流事業者として、環境に与える影響の軽減に取り組むことは大きな責務です。

## SGホールディングスグループの環境への取り組み <主な事例>

### サービスセンターの設置

佐川急便では、トラックを使用せず台車や自転車などで集配を行う「サービスセンター（SC）」を展開しており、全SC合計では車両約1,500台分のCO<sub>2</sub>や大気汚染物質を排出削減しています。この取り組みと合わせ、削減困難なCO<sub>2</sub>（営業所とSC間の輸送やSCで使用する電気など）を佐川林業のクレジットを利用してオフセットすることで、業界初となる環境省の「カーボン・ニュートラル認証」を全国6拠点で取得しました。



### 環境配慮型の物流施設

SGリアルティでは、グループの配送拠点・流通センター全国99施設で太陽光発電を行っています。2018年2月に竣工したSGリアルティ和光では、最新の自家消費型太陽光発電システムの導入のほか、発電電力を利用した防災用蓄電設備も備え、「DBJ Green Building 認証」制度、建築物省エネルギー性能表示制度「BELS」双方で最高ランク『5つ星』の認証を獲得しました。また「BELS」では、物流施設初の「ZEB※」評価を獲得しています。

※ZEB ゼロ・エネルギー・ビルディング



## 私たちとSDGsとの関わり

私たちは事業を通じて社会課題の解決を図り、ステークホルダーの期待に応えることで、持続的な成長を目指してきました。2017年度にはそのひとつの指標として、これまでのCSR重要課題を見直し、新たに7つの重要課題を特定しました。特定プロセスにおいては、社会からの要請事項と乖離がないかを確認するため、国連サミットで採択された持続可能な開発目標である「SDGs」を活用しています。

7つの重要課題である「安全・安心な交通社会の実現」「環境に配慮した事業推進」「個性・多様性を尊重した組織づくり」「総合物流ソリューションによる新しい価値の創出」「地域社会への貢献」「サステナブル調達の推進」「責任ある経営基盤の構築」は、どれも社会からの要請度が高く、かつ当社グループのビジネスにとっても重要なものであり、これらの取り組みを推進することは、SDGsの達成につながると考えています。

### SGホールディングスグループ CSR 重要7 課題と関連の深いSDGs

|                               |  |                    |  |
|-------------------------------|--|--------------------|--|
| <b>安全・安心な交通社会の実現</b>          |  | <b>地域社会への貢献</b>    |  |
| <b>環境に配慮した事業推進</b>            |  | <b>サステナブル調達の推進</b> |  |
| <b>個性・多様性を尊重した組織づくり</b>       |  | <b>責任ある経営基盤の構築</b> |  |
| <b>総合物流ソリューションによる新しい価値の創造</b> |  |                    |  |

SGホールディングス株式会社は、ユースの環境活動を応援しています。



# 全国ユース環境ネットワークは、 NPO法人環境会議所東北と連携しています。

全国ユース環境ネットワークとNPO法人環境会議所東北（仙台市）は、2018年7月、東北地区で積極的な環境活動を展開する6県12校の高校生を招き、「東北地区 高校生SDGsセミナー」を開催しました。

NPO法人環境会議所東北は、18年もの長い間、東北地区において「環境甲子園」を開催し、高校生の環境活動や研究の応援をしています。今年度、「第18回 環境甲子園」が開催され、多くの高校が応募し表彰されました。その結果をご紹介します。



2018年7月開催 東北地区 高校生SDGsセミナー

## 東北地区で、「第18回 環境甲子園」が開催されました。

NPO法人環境会議所東北は、平成13年から高校生の環境活動を支援する『環境甲子園』を実施しております。『環境甲子園』は、環境と共生した社会の実現を目指し、エネルギー問題（省・創・蓄）やゴミ問題などさまざまなテーマで高校生の環境に関する取り組みを募集するコンテストです。

18回目となる今年の『環境甲子園』もたくさんのご応募をいただきました。厳正な審査の上、受賞作品が決定いたしました。入賞された皆さま、おめでとうございます！  
今回、惜しくも受賞に至らなかった環境活動も是非続けて頂き、次の機会に成果を応募していただければ幸いです。



### 2018年度 第18回 環境甲子園 受賞高校

最優秀賞

高校名 **岩手県立遠野緑峰高等学校**  
チーム **草花研究班 9名**  
作品名 **遠野の宝「ホップ和紙開発」  
～強靱な和紙の開発と新たな利用価値を求めて～**



岩手県立遠野緑峰高等学校

特別奨励賞

高校名 **宮城県多賀城高等学校**  
チーム **SS科学部 10名**  
作品名 **多賀城高校の松枯れの原因を探る PART2**



宮城県多賀城高等学校

奨励賞

高校名 **宮城県農業高等学校**  
チーム **科学部復興プロジェクトチーム 16名**  
作品名 **桜塩で創る循環型6次産業**



宮城県農業高等学校

高校名 **秋田県立大曲農業高等学校**  
チーム **田沢湖水質改善研究チーム 4名**  
作品名 **田沢湖の湖沼生態系の回復を目指して**



秋田県立大曲農業高等学校

高校名 **青森県立名久井農業高等学校**  
チーム **環境班 2名**  
作品名 **電気がキノコの発生に及ぼす影響  
～迫り来る環境異変の前に～**



青森県立名久井農業高等学校

環境甲子園  
お問合せ先

特定非営利活動(NPO)法人 環境会議所東北  
〒981-3121 宮城県仙台市泉区上谷刈3-10-6 TEL:022-218-0761 FAX:022-375-7797



## 国連大学サステナビリティ高等研究所

### 神田女学園高等学校「地球市民」

平成31年1月、国連大学サステナビリティ高等研究所にて「高校生SDGsセミナー」が開催され、神田女学園高等学校の12名の高校生が参加しました。講師の増田大美氏からSDGsに関する世界、国内の動向について研修を受け、その後にグループワークを行いました。参加した神田女学園の高校生は、すでにSDGsを学び、自主的に活動もしています。今回のセミナーは、SDGsについてさらに深く学ぶ機会になったことと思います。



2015年にニューヨークの国連本部で開催された「持続可能な開発サミット」



講師

国連大学サステナビリティ高等研究所  
プログラムコーディネーター  
増田 大美 様

### グローバル

持続可能な開発のための2030アジェンダ及び持続可能な開発目標(SDGs)は、2015年9月に国連サミットにて採択されました。世界的には、SDGs実施をレビューする場として持続可能な開発に関する国連ハイレベル政治フォーラム(HLPE, High-level Political Forum)があり、2013年より国連経済社会理事会のもと毎年1回開催されています。加えて4年に1回は国連総会のもと各国首脳級の会合が開催されます。2019年は2015年にSDGsが採択されてから初めての国連総会における総括的レビューの場となります。

### アジア太平洋地域

リージョナルレベルでは国連の国連経済社会理事会の地域委員会が締約国のSDGs実施をサポートするよう推奨されています。アジア太平洋地域では、国連アジア太平洋経済社会委員会が主に地域レベルでのロードマップ作成や加盟国のSDGs実施支援、能力開発を実施しています。2018年3月には国連大学と協働でSDGs実施のパートナーシップ実現に向けたガイドラインを作成しました。

### 国家(日本)

世界各国はSDGs実施に向けた体制を整え、国家計画や予算へのSDGs主流化を進めています。日本でも総理が本部長、全閣僚が構成員となる持続可能な開発目標(SDGs)推進本部を設置し、2016年12月にSDGs実施指針を策定、またSDGsアクションプランを策定しています。また第5次環境基本計画にSDGsが位置づけられるなど、SDGs主流化に向けた展開がなされています。

### 地方

世界全体ではSDGsのローカライゼーション(地域毎の状況に合わせたSDGs実施)が数多くの都市で進んでいます。日本では2018年に29の地方自治体がSDGs未来都市として選定されました。SDGs未来都市の中には、地域計画の強化や多彩なステークホルダーとの連携体制を模索する新たなガバナンス構築の流れが出てきています。

### 様々なステークホルダー

SDGs実施には、国だけではなく民間企業、研究機関・大学、市民団体など多様なステークホルダーの取り組みが重要です。ESG金融(環境・社会・コーポレートガバナンスに考慮した金融)の広がり等、SDGsに取り組むことが経営戦略として重視されつつあります。





## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



# 私たちのSDGsへの想い

セミナーの中のワークショップでは、各自が関心のあるSDGsのゴールを選択。「2030年とはどんな社会になってほしいか?」、「そのためにあなたがしたいことは何か?」をSDGsの観点からグループで話し合った。未来に対するアイデアや思いつきなど、積極的な意見交換がされた。また、参加した生徒は、セミナーで学んだことを学校の集会で報告した。

## 高校生SDGs宣言

### 高校生が選んだSDGsゴールと宣言（神田女学園高等学校）

伊東 明日美さん



このゴールを選んだ理由は、言語という壁が個人の考え方や大切な意見をつぶしてしまうことをなくしたいから。言葉が通じなくても分かり合える社会になって欲しいです。

#### SDGs宣言

通訳士になり世界の国々の人々が分かり合える世の中になります。

大橋 美慧さん



このゴールを選んだ理由は、国籍などによる差別を受けている人の話を聞き、寄り添いたいと思ったからです。今回のセミナーで学んだことを今後活かしていきたいと思いました。

#### SDGs宣言

すべての人が生きやすい社会に少しでも近づけます。

阿部 碧さん



このゴールを選んだ理由は、世界中の人々がいつまでも健康に長生きできる社会になって欲しいからです。日本でもSDGsの活動を活発化させていきたいです。

#### SDGs宣言

教育者になり、SDGsを通して多くのひと々にこの現状を知らせます。

稲垣 美櫻さん



ユニバーサルデザインやバリアフリーを有効に活用できる社会になって欲しいからです。今後は、誰もが安心して住める町づくりを目指し、現在ある問題を改善できるように自分にできることを見つけたいと思いました。

#### SDGs宣言

ボランティア活動を幅広く行います。

川口 桃佳さん



このゴールを選んだ理由はSDGsについての教育がもっと普及していればよかったからです。また、SDGsを通じて国同士が仲良くなって欲しいと思いました。

#### SDGs宣言

教員になり、授業でSDGsを取り上げます。

小松崎 遥さん



誰もが平等に物が使え、無駄がなく、ゴミが出ないような社会になって欲しいからです。今回のセミナーでは、様々な面からSDGsについての他の人の考えを知ることができてとても楽しかったです。

#### SDGs宣言

1つの物を長く使いリサイクルを積極的にに行います。

篠木 美幸さん



男女格差のない、すべての人が平等に平和な住みやすい社会になって欲しいと思ったのでこのゴールを選びました。政治家だけではなく国民全体が行動していかなければならないと思いました。

#### SDGs宣言

自分の周囲の人から意識を変えていきます。

篠原 有紗さん



すべての人が健康でいて欲しいと思ったので、このゴールを選びました。今回のセミナーに参加して、自分とは違う人の意見を聞くことができ、楽しかったです。

#### SDGs宣言

すべての人が健康でいられるような社会にします。

玉村 早さん



このゴールを選んだ理由は、男女格差がなく、誰もが平等にやりがいのある仕事ができるような環境になって欲しいと思ったからです。

#### SDGs宣言

誰もが働きやすく、男女の格差がなくなるような環境にします。

中村 芽さん



大量生産、大量消費により、賞味期限切れでも「まだ食べられるもの」まで捨ててしまっている問題について、私たちにできることはないかと思ったからです。

#### SDGs宣言

私は分別を積極的にします。

川崎 くるみさん



私は将来建築士になりたいので、人々が安全に暮らせるよう、地震などに耐えられる家を設計したいと思い、このゴールを選びました。

#### SDGs宣言

地震などに耐えられる家を設計します。

前田 奈緒さん



このゴールを選んだ理由は、当たり前前にトイレが使え、当たり前安心して水が飲めるような世の中になって欲しいからです。何も知らなければ行動できないので周囲の人にSDGsについて教えたいと思いました。

#### SDGs宣言

安全な水が確保できない国々が井戸やトイレを作るように募金します。

## 第16回 全国大学生環境活動コンテスト 開催結果報告

- 主催** 全国大学生環境活動コンテスト実行委員会  
**共催** 独立行政法人環境再生保全機構  
特定非営利活動法人エコ・リーグ  
**協賛** 公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団／  
3R活動推進フォーラム／  
J-POWER 電源開発株式会社／  
新日本流通株式会社  
**物品協賛** 協栄産業株式会社／株式会社クボタ／  
株式会社大王製作所／びんリユースを推進する会／  
株式会社山櫻  
**後援** 環境省／文部科学省／読売新聞社／  
全国大学生生活協同組合連合会  
**協力** 株式会社ダイナックス都市環境研究所

**ecocon**  
全国大学生環境活動コンテスト



## 第16回 全国大学生環境活動コンテストが開催されました

「全国大学生環境活動コンテスト (ecocon)」は、環境に関心のある全国の大学生が1年に1度集まり発表・交流・学習を行うイベントで、企業、行政、学識経験者、環境団体などの社会人の選考委員を交え、1年間実施した活動の振り返り、評価を行うコンテストです。平成30年12月23日、24日に、第16回 全国大学生環境活動コンテスト (ecocon2018) が開催され、全国各地から15の学生環境団体が参加し、2日間で延べ200人が参加しました。今年度は交流会のほかに、参加者の大学生を対象とした「全国大学生SDGsセミナー」を実施し、全国の大学生とSDGsをテーマにした研修および意見交換を実施しました。2日間にわたるコンテストにおいて、全国の団体の中から今年度グランプリとなったのは大阪大学環境サークルGECS、準グランプリは早稲田大学学生環境NPO 環境ロドリゲスの皆さんでした。



グランプリ  
環境大臣賞

### 大阪大学環境サークルGECS

#### 『学生』という立場から環境問題の改善に貢献する

大阪大学環境サークルGECSは、大阪大学豊中キャンパスを拠点に、大学内外で環境活動を行なっている大阪大学公認サークルで、現在計85人で活動しています。

環境教育、ごみ拾い、景観保全、3R活動など、サークルメンバーを7つの班に分けながら、それぞれが課題と感じた環境課題の解決を目指し、日々多様な活動を実施しています。株式会社クボタや積水ハウス工業株式会社などの企業、地域の自治体などの行政団体、地域の小学校など、多様なセクターとの連携を行いながら、幅広く活動を行なっていることも特徴の一つです。今年度はSDGsに注目し、オリジナルのシミュレーションゲーム「一国の主ゲーム」を新しく製作しました。小学生を対象としたゲームで、SDGsという単語を知らない子どもでも、SDGsのことを学べる場を提供しました。それ以外には例年実施している箕面川の清掃イベント、らいとびあ21(大阪府箕面市萱野中央人権文化センター)での壁面緑化活動、小学校の低中学年を対象とした環境教育活動の「びったんこ隊mini」の開催などを行いました。私たちは「環境問題に関心のある薄い人に環境活動に対して興味を持ってもらうためのきっかけ作り」を目的に、活動を実施しています。「大学生ならではの親しみやすさを生かし、将来持続可能な社会を作り上げる私達大学生や子ども達を中心とした多様な人達を巻き込みながら、参加者全員が楽しみながら環境のことを学べるように、今後も活動を続けます。



準グランプリ

独立行政法人環境再生保全機構理事長賞

### 早稲田大学学生環境NPO 環境ロドリゲス

#### 『学生』が主体となって、多様なアプローチから環境問題の解決に貢献する

私たち環境ロドリゲスは1997年に発足した団体、現在68人で活動をしています。学生が主体となって、多様なアプローチから環境問題の解決に貢献するという理念の下に活動をしており、環境×里山、環境×教育、環境×進路環境、環境×商品開発などの、環境に関連している、企画単位の7つの活動を展開しています。

私たちの強みは活動の「多様性」です。環境という言葉は多くの意味を含んだ言葉ですが、環境ロドリゲスは上記の多様な活動を展開しており、環境に興味がある学生がそれぞれの関心がある分野で活躍することが可能となっています。上記の理念を実行する形で活動を実施していることが、環境ロドリゲスの強みだと思います。

今年度の活動内容としては鯖江での小学生を対象とした環境教育、大学生を佐渡に連れて行き佐渡の魅力を紹介する佐渡旅をはじめとした遠地でのイベントや、多摩川清掃、千葉県の上野での整備活動、学園祭や新歓期でのごみ拾いと清掃活動など、大学生が楽しみながら主体的にできる活動を実施しました。

学生主体の環境活動を今後も実施し、学生だからこそできる多様で自由な発想をもって、様々な環境問題の解決の手段や環境課題に取り組める場を今後も提供します。





# 全国大学生SDGsセミナー

全国から大学生が集まるエココンの場を利用して、大学生達が考えるSDGs企画として、「全国大学生SDGsセミナー」を2日間に渡って実施しました。1日目を「はじまりからの足跡」編として、開会式に参加者へのSDGsに関するレクチャーとなるプチセミナーを、2日目を「解決への歩き方」編として、閉会式前にSDGsに取り組んでいる企業2社からの事例紹介、および大学生によるSDGs意見交換会を実施しました。



## セミナー内容 (1日目)

1日目は「はじまりからの足跡」編と称して、エココン2018 学生代表、およびエココン2017 学生代表により、導入となるSDGsのプチセミナーを実施しました。まだSDGsの内容を深く知らない人でも、「SDGsとは何か?」が理解しやすいように、過去のエココンの出場団体とSDGsとの関わりや、なぜ大学生がSDGsに取り組まなければならないかなどについて、わかりやすくレクチャーを行いました。



## セミナー内容 (2日目)

2日目は「解決への歩き方」編と称して、企業による事例発表と大学生による意見交換会を行いました。

### ○事例発表

企業の事例発表につきましては、エココンに例年ご協力いただいている公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団、および株式会社クボタの2企業より、自社の事業活動とSDGsとの関わりについてご発表いただきました。

### ○意見交換会

2日間のエココンのコンテンツを経て大学生が思ったこと、感じた事について、意見交換会を行いました。会場の大学生以外にも、選考委員や事例発表2企業を含め、「2030年に学生団体が実現したい社会」をテーマに、熱心な議論を行いました。



公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団  
近藤 由美 様



株式会社クボタ生産本部 環境管理部 環境推進グループ  
森田 慎吾 様

### 意見交換会

## 大学生SDGsメッセージ： 実現したい2030年は？



### えこまな@京田辺の 実現したい2030年

『環境』という科目が実現するような未来を実現したいと思います。私達が環境教育をしている子ども達が大きくなり、その子ども達に環境教育を行うような、継続して環境のことを教えられるような連鎖を実現したいです。



### 近畿大学 農学部 学生団体 FeeLinkの実現したい2030年

「多様性が強み」になるような社会を実現したいと思います。作物栽培やビオトープ活動などの日頃の活動を通じて参加者に気付きを提供することで、環境教育に通ずるような、環境の新しい一面や面白さをもっと知ってもらいたいと思います。



### 大阪大学 環境サークルGECSの 実現したい2030年

「学生の環境に対する可能性を大きくする未来」を作りたいと思います。社会に出て活躍しているOBやOGとの連携を深めることで社会とのつながりをつくり様々な知見やノウハウを共有し、将来自分達学生が社会に出たときに、自分達の知識をその時の学生に還元できるサイクルを作ります。



### 早稲田大学 学生環境NPO環境 ロドリゲスの実現したい2030年

環境活動が当たり前になっているような社会を実現したいと思います。そのためには環境に触れるだけでなく、パートナーシップを駆使した多面的な活動であったり、様々な視点から環境のことを意識してもらえるような場づくりを行います。



### 大阪府立大学 環境部エコロ助の 実現したい2030年

暮らしの中の環境がさらに向上する社会を目指します。現在もSDGsの様々なゴールに寄与する活動を実施しているので、今後もこれらの活動を継続しつつ、外部との連携やつながりを強化し、それを地域に還元できるような活動を推進します。

## 環境省からのお知らせ



### ESD活動支援センター

Education for Sustainable Development

ESD (Education for Sustainable Development)  
＝ 持続可能な開発のための教育

ESD 活動支援センター(全国・地方)は、地域ESD 活動推進拠点と共にESD 推進ネットワークを形成し、連携してESDを支援します。

ESD 推進ネットワークは、持続可能な社会の実現に向け、ESDに関わるマルチステークホルダーが、地域における取り組みを核としつつ、様々なレベルで分野横断的に協働・連携してESDを推進することを目的としています。全国センターは、地方センターとの連携・協力のもと、このネットワーク形成に取り組みます。ぜひホームページをご覧ください。

URL: <http://esdcenter.jp/>

ESD 活動支援センターは、全国ユース環境活動発表大会を応援しています。

## 環境再生保全機構からのお知らせ

地球環境基金はNGO・NPOの環境保全活動を支援しています。

### 読み終わった本で環境保全に貢献しませんか？



「本de寄付」は、本の買取金額が寄付金となり、NGO・NPOの環境保全活動に役立てられます。

① 読み終わった本を段ボール箱へ  
(送れるもの) 書籍・コミック・CD・DVD・ゲームソフトなど

② 「本de寄付」に申し込む  
ホームページ、TEL、FAXからお申込み下さい。

③ 送料無料でお引き取り  
ご指定の日時に、配送業者が無料で集荷に伺います。

④ 買取金額が寄付される  
ご寄付額を記載したお礼状を送付します。

<申込み先>

TEL 044-520-9606 FAX 044-520-2192

本de寄付 検索

Instagram フォローしてね!

@erca\_kikin

ユース事業や助成団体の活動地域の美しい風景などをお伝えします。



Twitter こちらもよろしく!

@ERCA\_kikin

イベント情報や講座・研修の案内、助成団体の活動などをお伝えします。



事務局だより

## 第4回 全国ユース環境活動発表大会を終えて

全国ユース環境ネットワーク事務局です。みなさまのご協力により、第4回 全国ユース環境活動発表大会を終えることができました。出場高校のみなさま、ご応募いただいたみなさま、そして関係者のみなさま、本当にありがとうございました。ここでは、全国大会で環境大臣賞・環境再生保全機構理事長賞を受賞した2校、そして出場高校みなさんへの事務局の感想と今回の大会でのこだわりポイントをご紹介します。



【環境大臣賞】

長崎県立五島高等学校

活動を始めた3人の、柔軟な発想力・大胆な行動力・島全体を巻き込む力に感銘を受けました。この活動がさらに全国・全世界へと広がっていくことを期待しています。本当におめでとうございます。



【環境再生保全機構理事長賞】

岐阜県立恵那農業高等学校

花粉を運ぶみつばちの生態の研究を軸に、地元の里山や農地の保全、収穫物の販路創出まで、まさに地域における持続可能な社会の実現に取り組んでいる『花咲かみつばちプロジェクト』。全国大会でも大きな花を咲かせてくれました! おめでとうございます!



### こだわりポイント ホップ和紙の賞状

今回の「環境大臣賞」「環境再生保全機構理事長賞」「国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞」で贈呈された賞状には「漂白剤を使用せずに製作した無漂白のホップ和紙」が使われました。こちらは昨年度「環境大臣賞」を受賞した岩手県立遠野緑峰高等学校の高校生が廃棄されていたホップ蔓を資源として和紙に再生させたもので、環境に優しいだけでなく地域の農業や観光産業の活性化にも貢献しています。先輩のエコな取り組みが大会でも活かされています。

### 事務局スタッフより

全国8箇所での地方大会から選抜されたということで、レベルの高い発表ばかりでした。観覧者の方からも賞賛や感動の声が多く寄せられました。素晴らしい発表を本当にありがとうございました。来年もみなさんとお会いできることを楽しみにしています。



大会概要

- 日程 平成31年2月9日(土)、10日(日)
- 会場 国連大学 ウ・タント国際会議場
- 主催 全国ユース環境活動発表大会 実行委員会(環境省・独立行政法人環境再生保全機構・国連大学サステナビリティ高等研究所)
- 後援 読売新聞東京本社
- 協力 環境省地方環境パートナーシップオフィス(EPO)/ 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC) / ESD活動支援センター
- 協賛 キリン株式会社 / 協栄産業株式会社 / SGホールディングス株式会社 / 三井住友海上火災保険株式会社

発行

全国ユース  
環境ネットワーク  
事務局

〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー8階  
独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金内 全国ユース環境ネットワーク事務局  
Tel: 044-520-9505 メール: youth@erca.go.jp

URL: <https://www.erca.go.jp/jfge/youth/index.html>

KIRIN

SGH

KYOEI

MS&AD

三井住友海上

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

